

病院案内

診療科目：精神科 神経科 病床数：230 床

診療時間	（受付時間）	月	火	水	木	金	土
9:30～	9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
14:00～	13:30～15:30	○	○	--	○	--	--

※休診日：水・金・土曜日の午後 日曜日・祝祭日 年末年始・お盆

※面会時間 9：30～16：30

☆お知らせ

メンタルホスピタル鹿屋では、地域での講演、事業所でのメンタルヘルスに関する講演、うつ病などの研修会等お引き受けいたしております。
お気軽にご連絡ください。



令和5年7月1日

☆予約については
初診と木曜日午後
第1週目土曜日
児童思春期外来

診療実績

2023 年度	外来患者数	初診	1 日平均 外来数	月入院数	月退院数	平均入院 患者数	平均在院 日数
4 月	1,716	75	71.5	32	34	210.7	191.6
5 月	1,726	85	75	34	29	210.5	207.1
6 月	1,803	93	69.3	23	24	213.2	272.2
認知症関連：20.3（3ヶ月平均）				病床稼働率：91.9 %（3ヶ月平均）			

認知症疾患医療センター

専門医療相談窓口 ☎ 0994 - 36 - 1870

受付時間：午前9時～午後5時 月～金

（祝日、年末年始を除く）

連携担当員：西迫

主な役割

- ☞ 認知症疾患に関する専門医療相談
- ☞ 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ☞ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ☞ かかりつけ医等への研修会の開催
- ☞ 認知症疾患医療連携協議会の開催

編集後記

7月号の編集をしている最中に梅雨が明けそうな予感がしますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？コロナ禍で中止を余儀なくされていた様々なイベントが再開されるニュースを聞くと3年前から途絶えてしまったワクワク感がよみがえってくるように思います。

一方、ロシア、ウクライナ戦争は未だに続いており、幼い尊い命も失われている現状です。某コマーシャルで「最後の一粒まで大事に食べなさい。ではなく、最初の一粒も食べられない人もいます。」と考えさせられる言葉を聞き、感慨深く感じました。
これからも「一日を大切に、一食を大事に」今年の梅雨を乗り切りたいと思います。



メンタルホスピタル鹿屋

〒893-0037

鹿児島県鹿屋市田崎町 1043-1

☎ 0994-42-3155 fax0994-42-3156

おおすみ 四季いろどり

（医療理念）

1. 地域で必要とされる医療機関を目指し、良質な医療を提供します
2. 患者さん中心としたチーム医療をおこないます
3. 全職員は最良（最善）の医療を提供するために常に自己研鑽します



（基本方針）

1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療をはじめとする医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図ります
2. 生活困難者に対し、無料または低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図ります
3. 地域住民を対象にした予防措置や治療方法等の普及・啓発の実施、各種相談への対応を行うことで精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図ります
4. 精神科医療の担い手確保を視野においた医療従事者の養成および再教育を図ります

（患者さんの権利と責務）

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互関係の下で医療を受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見通しなどについて、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方針などを自らの意思で選択する権利があります。
5. 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされない権利があります。
7. 良質な医療を実現するためには、医師をはじめとする医療提供者に対し、患者さん自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
8. 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する責務があります。
9. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、患者さんは、他の患者さんには、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

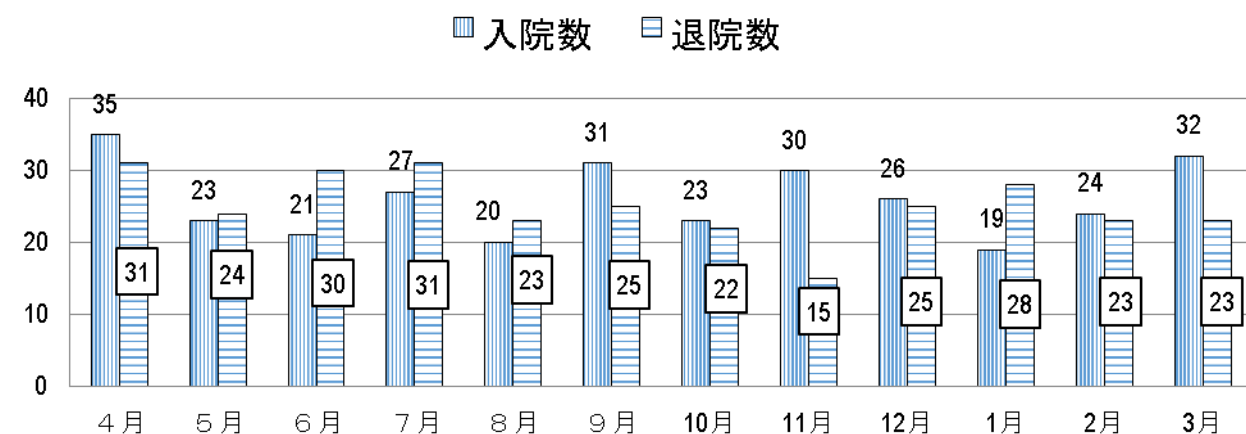
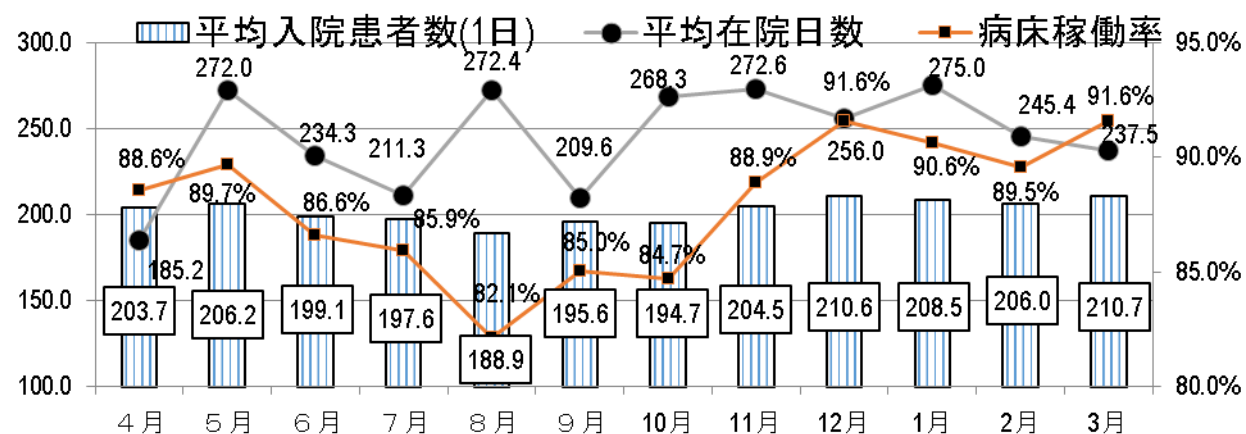
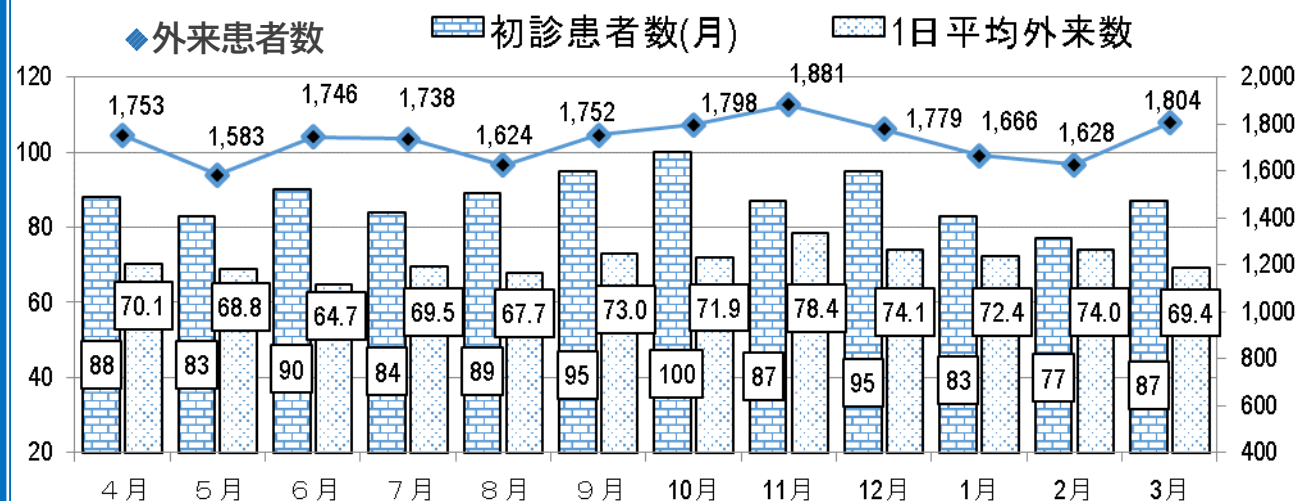
No.39 2023 年 7 月号
公益社団法人 いちょうの樹
メンタルホスピタル鹿屋

CONTENTS

- ・令和4年度患者統計
- ・令和5年度メンタルホスピタル鹿屋入社式
- ・認知症研修会
- ・コンプライアンス研修会
- ・インフォメーション
- ・その他

令和4年度 患者統計

令和4年度	延入院患者 数(月平均)	入院患者数 (1日平均)	病床稼働率	外来患者数	初診患者数	外来数 (1日平均)	入院数	退院数
	6,149	202.2	87.9%	20,752	1,058	71.2	311	300
前年度比	97.8%	97.8%	97.8%	101.5%	100.9%	101.9%	91.7%	89.6%



☆行事 (4月～6月)

●令和5年度 入社式

4月3日(月)「令和5年度メンタルホスピタル鹿屋入社式」が行われました。今年度は、昨年同様に新入職員7名(看護部・診療技術部)の方々が入職いたしました。新しい仲間を迎えた当院のさらなる成長にご期待ください!



●認知症研修会



令和5年5月15日(月)

「ユマニチュード」

講師：看護師・認知症ケア専門士 二宮理

院内で認知症定期研修会が行われました。今回は「ユマニチュード」をテーマに、日々のケアに活かせる実践技法についても具体例を挙げながらお話頂きました。

●コンプライアンス研修

令和5年6月10日(土)

「ハラスメントの基礎知識」 メンタルケア鹿児島

平川真理子氏

(研修会内容) 一部抜粋

◎ハラスメント定義

いろいろな場面での「嫌がらせ、いじめ」を意味する。加害者と非加害者間で認識の差が大きい。

根底にあるのは、自己中心性、他者への共感性の欠如。「**相手が不快な感情を抱けばハラスメントとなる**」

◎セクシュアルハラスメント(セクハラ)の定義

「職場において性的な言動をし、相手(被害を受けた人)が不快感を感じたり、不利益を被るなどで、就業環境を悪くすること」セクハラとなるかどうかは、その状況でその言動を受けた場合、不快と感じるかが基準。快・不快を決めるのはあくまでその言動を受けている人であり、周囲にいる人ではない。

セクハラに対する認識度の違いには、ジェンダー(社会的性別役割)への意識が大きく関わっている。

「女は～」 「男は～」という思考をよくする人は要注意。

◎モラルハラスメント(モラハラ)の定義

道徳観に準拠した嫌がらせ。精神的な暴力や言動による嫌がらせ 「陰口」「侮辱」「無視」「暴言」「人格否定」「人格攻撃」など

✦働きやすい環境をつくるためのコミュニケーション法

◎「おひたし」を心がける。

「お」 感情のままに怒らない。怒っても相手には伝わらない。

「ひ」 頭から否定しない。

「た」 サポートし、助ける。

「し」 相手にわかる言葉で、できることを具体的に指示する。

